

演題名	水道光熱費と消耗品の経費削減		
施設名	オアシス21	(ふりがな) 発表者(職種)	(たかはし まい) 高橋 真衣(言語聴覚士)
(ふりがな) チーム名	(ろうけんのやくわりってなんだろう ぱーとせぶん) 老健の役割って何だろうパート7?		
分類	④無駄の削減や能率向上、業務環境の改善をめざすもの		
取り組み種別	問題解決型		
改善しようとした 問題課題	世界情勢や燃料費高騰による物価高の中、水道光熱費や消耗品のコストが上昇傾向となっている。		
改善の指標と その目標値	水道光熱費(水道・電気)1%、消耗品費(使用量の多い物)10%のコスト削減を目標とした。		
実施した対策	①文房具保管場所誰でもわかるように明確化②利用者への貸出把握のため貸出簿を作成し管理③おしりふきの検証④水道や電気のムダを減らすためマニュアルを作成⑤水道破損個所の修理依頼⑥清拭方法の講習		
改善指標の 対策実施 前後の変化	水道料6%、電気料19%、消耗品(おしりふき)58%の削減。		
歯止めと 標準化	①標準化:業務マニュアルを使用し各主任が入職時に説明。業務改善委員会で文房具の整理整頓を実施/月2回。②教育:排泄委員会で正しい清拭手順についての職員研修を入職時に実施。③管理:利用者への文房具貸出は日勤者が貸出簿を記入し管理。		
活動の種類 ※複数選択可	③テーマに合わせて形成したチーム活動 ④組織全体で取り組んだ活動	チーム メンバー (職種)	1 高橋 真衣 言語聴覚士
活動の場 ※複数選択可	②支援部門		2 桑原千秋 看護師
活動期間	令和6年1月19日～6月5日		3 長谷 奈々子 管理栄養士
リーダー名 (職種)	高橋 真衣(言語聴覚士)		4 山本美沙 介護福祉士
活動回数	9 回		5 糟谷 三千子 介護福祉士
			6 山中 俊樹 介護福祉士
			7 西田 貴 介護福祉士
			8 荒生 真理子 介護福祉士
			9 阿部 美穂 介護福祉士
			10 太田 優希 理学療法士
			11 久保 馨 総務
			12 小田 敏江 介護支援専門員
			13

【テーマ選定】

テーマ選定

- ① 2022年度より、グループ法人全体でコスト削減
- ② 2023年4月～10月 (総額¥150,038千円)  
(内訳) 水道光熱費 ¥16,615千円  
消耗品費 ¥4,031千円  
衛生費 ¥3,430千円

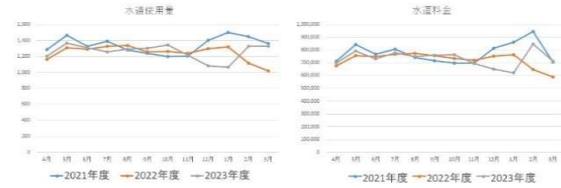


**水道光熱費と消耗品費の削減!**

【現状把握】

現状把握

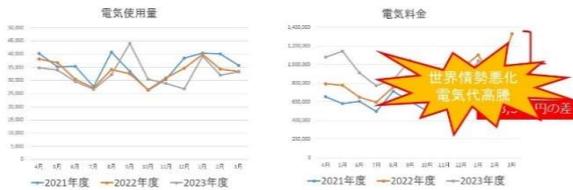
水道



水道使用量・水道料金は大きく変わらない

現状把握

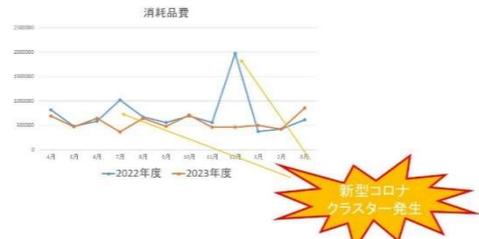
電気



電気使用量は減っていても電気料金は高くなっている!!

現状把握

消耗品費



経費削減と言われているが…減っていない!!

【目標設定】

目標設定

なにを	水道光熱費 (水道・電気) ・ 消耗品費 (使用量の多い物) の コスト削減
いつまでに	令和6年5月31日まで
どうする	水道光熱費 1%削減 消耗品費 10%削減

【要因解析】

重要要因の検証 水道光熱費

重要要因	検証	判定
つけっぱなしをそのままにしている	ルールが明確化されていない	○
居室のテレビがつけっぱなしになっている		
水が出っぱなしになっている	職員の目が届きにくい 硬くしてめられない	○
室温・温度の管理が難しい	外気温の影響が強く細かい調整が必要だが、機械の操作は複雑	×
物価の高騰	電気の単価自体が上がっている	×

重要要因の検証 消耗品費

重要要因	検証	判定
文房具を管理できていない	元の場所に戻さない 利用者に貸し出したままになる	○
物品管理の責任が曖昧		
おしりふきのコスト高	細かい検証がされていない	○
ペーパータオルを必要以上に使ってしまう	思ってもいない量が出てくる	○
コロナの感染拡大	感染対策のために使い捨ての物品を使う必要がある	×

## 【対策の立案と実施】

### 対策の立案

●: 5点 ○: 3点 △: 1点 15点以上を対称する 7L

特性	重要要因	一次対策	二次対策	三次対策	効果	実現	持続	経済	点数	採否	
なぜ水道光熱費が増えるのか	つけっぱなしをそのままにしている	ルールを見直す	ルールを決める	①マニュアルの作成	◎	◎	○	○	16	○	
				②スイッチに張り紙を貼る	◎	◎	○	○	16	○	
				③日中、夜間の電気巡回	◎	◎	○	○	16	○	
	水が出しっぱなしになっている	原因の調査	点検する	①修理依頼する	◎	◎	○	○	16	○	
				ルールを決める	②巡回時に確認する	◎	◎	○	○	16	○

### 対策の立案

●: 5点 ○: 3点 △: 1点 15点以上を対称する 7L

特性	重要要因	一次対策	二次対策	三次対策	効果	実現	持続	経済	点数	採否
なぜ消耗品費が減らないのか	文房具を管理できていない	整理整頓	定位置を決める	①ラベリングし職員へ周知	◎	◎	◎	◎	20	○
				②利用者への貸出を把握する	○	◎	○	◎	16	○
	ペーパータオルが必要以上に多く出ている	使いやすいよう工夫する	使いやすいものを再検討する	①メーカーの変更	△	○	○	△	8	×
				②新しくペーパーホルダーを設置	△	◎	◎	△	12	×
	おしりふきのコストについて考えることがなかった	サンプルを取り寄せる	適したおしりふきを検討する	①メーカーの変更	◎	◎	○	◎	18	○
				②清拭の講習	◎	◎	◎	◎	16	○

### 対策実施

①水が出しっぱなしにならないように...

きつい蛇口を修理!



水漏れ箇所の修理!



②無駄な水を減らすために...

定時巡回を行い確認する



### 対策実施

③電気のつけっぱなしを減らすため...

マニュアルを作成



④無駄な電気を減らすため

定時巡回を行い確認する



⑤意識できるように...

病棟内にポスターを掲示する



### 対策実施

⑥保管場所を誰でもわかるように

分類ごとに仕切りを作りラベリングして収納の明確化を行う



### 対策実施

⑦利用者に貸したものを把握するため...

貸出文具取納を作り貸出簿を用いて管理を行う



ラベリングしたり貸出簿を用意すると物の管理がわかりやすい!



### 対策実施

⑧おしりふきの検証をする

サンプルを数種類取り寄せ、サイズ、厚み、使用感等実際に使ってみて検証を行う



厚みも大切ですね。使いづらいとご利用者様にも迷惑がかかるし。



今使っているものより小さくなってしまったり汚れを拭き取りにくいのではないですか?

## 【効果の確認】

### 効果の確認 ○有形効果

水道



### 効果の確認 ○有形効果

電気

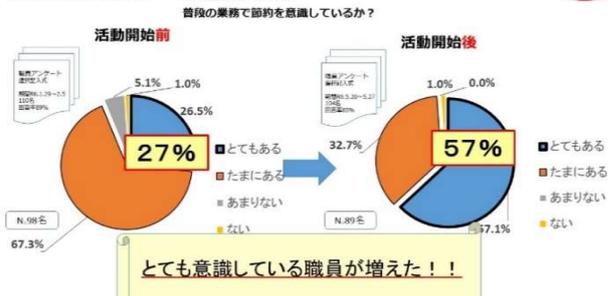


## 【効果の確認】

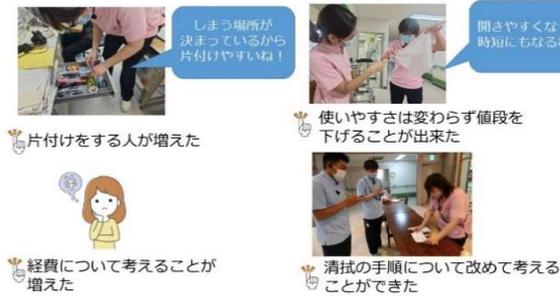
### 効果の確認 ○有形効果



### 効果の確認 ○無形効果



### 効果の確認 ○波及効果



### 効果の確認 ○波及効果



## 【標準化と管理の定着】

### 歯止めと標準化

目標 なぜ	項目 何を	担当者 誰が	場所 どこで	方法 どのように	期間 いつ
標準化	業務マニュアル	各主任	様内	入職時に説明	入職時
	文房具の整理整頓	業務改善委員	様内	見直し	月2回
教育	職員研修	排泡委員	様内	正しい清掃手順	入職時
管理	利用者への貸し出し	日勤者	様内	貸出簿の活用	毎日

## 【反省と今後の進め方】

### 反省と課題

手順	よかった点	わかった点	今後の進め方
テーマの選定	法人テーマに沿ってコスト面の見直しもすることができた。	利用者を巻き込んだテーマ選定ができた。よかった。	勉強会に参加して理解を深める。
現状把握と目標設定	例にコストがかかっているかを全員で把握することができた。	データを集めることが大変だった。他部署に協力を求めなければならなかった。	管理特性を知り目標を設定する。
活動計画の作成	それぞれの役割・期間が明確になった。ラインワークスを活用し参加率が向上した。	出席者に偏りが出てしまっていた。	今後オンラインワークスを活用して全員が同じ情報を共有できるようにしていく。
要因の解析	要因分析を4項目から5項目（コストの半額）別に絞られた。	フィッシュボーンが二本立てとなり作成が難しかった。	勉強会に参加して理解を深める。
対策の検討と実施	マニュアルを作成して節約の意識付けができた。	朝早いおしりふきに移行するまで一か月ほど時間がかかってしまった。	業務改善・排泡委員会と連携し活動計画に即して活動していく。
効果の確認	おしりふきのコストを削減することができた。	光熱費は厚層の影響もあり大きなコスト削減には結び付かなかった。	職員の理解度を勉強会後確認していく。
標準化と管理の定着	各々の役割が明確になり定着化が図れた。	主任業務が増えた。	各自で自主的に研修できるシステムを構築していく。

### まとめ

経費削減について意識はしていても看護業務や介護業務、リハビリ業務を行う中で、普段使用している水道光熱費や消耗品費などについて具体的に考える機会がありませんでした。今回の活動を通して、多職種で業務についての見直しを行うことの効果、重要性を感じることができました。今後も安全、経営、親身な対応の取り組みをチームで積極的にしていきたいと思っております。

